

# ツインシティ大神地区地区計画

(位置：平塚市大神五丁目、大神六丁目、大神七丁目及び大神八丁目地内 面積：約 68.8 ha)

## [区域の整備・開発及び保全の方針]

区域の整備・開発及び保全の方針	地区計画の目標	<p>本地区は、神奈川県及び神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会が計画する環境共生モデル都市ツインシティの西側の地区です。東側の寒川町倉見地区的東海道新幹線新駅誘致地区及びさがみ縦貫道路 寒川北インターチェンジと新橋で結ばれ、また、地区内を縦断している国道 129 号で北に約 1.5 km の地点に新東名高速道路 厚木南インターチェンジの開設など、周辺道路交通網の整備が進められている。</p> <p>この好条件を活かし、本地区は、「平塚市総合計画」や「平塚市都市マスタープラン」においては、本市の北の核として、環境との共生を理念とした新たな産業や業務機能などの集積を目指している。このように、計画的な土地利用を図る地区であることから、土地区画整理事業による基盤整備を行い、環境共生モデル都市にふさわしい良好な市街地形成を図ることである。</p> <p>地区計画により、産業機能、商業・業務機能、居住機能などの都市機能をバランスよく配置し、多くの市民や情報が交流し、吸引力のある環境共生のまちづくりの実現を図り、以下のようなツインシティが目指すべき都市像を達成することを目標とする。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・広域的な交流と連携の窓口（ゲートとなる都市）</li><li>・地域の環境と共生し、地球環境にやさしい環境共生都市</li><li>・新しい産業を創出・育成する都市</li><li>・新しい生活スタイル・ワークスタイルを実践する都市</li></ul>
	土地利用の方針	<p>本地区的土地利用は、産業地区、複合地区及び住宅地区に区分し、次の方針により、富士山等への眺望に配慮し、周辺の田園環境や周辺の住環境と調和のとれた、適正な市街地環境の形成と保全を図るものとする。</p> <p>(産業地区)</p> <p>産業地区 1：生産施設、物流施設、業務施設を主体とした、広域道路を活かした本市の経済活力を牽引する新しい産業やこれらの施設を集約する土地利用とし、周辺の田園環境との調和を図る地区とする。</p> <p>産業地区 2：生産施設、物流施設、業務施設を主体とした、広域道路を活かした本市の経済活力を牽引する新しい産業やこれらの施設を集約する土地利用とし、周辺の田園環境との調和を図る地区とする。</p> <p>産業地区 3：生産施設、物流施設、業務施設を主体とし、幹線道路沿道の立地を活かした、地区環境と調和する小規模な店舗を許容する土地利用とし、周辺の田園環境との調和を図る地区とする。</p> <p>産業地区 4：研究開発施設、情報通信業務施設を主体とした、広域道路を活かした本市の経済活力を牽引する先進的な産業を集約する土地利用とし、周辺の田園環境との調和を図る地区とする。</p> <p>産業地区 5：研究開発施設、情報通信業務施設を主体とし、幹線道路沿道の立地を活かした、地区環境と調和する小規模な店舗を許容する土地利用とし、周辺の田園環境との調和を図る地区とする。</p> <p>(複合地区)</p> <p>複合地区 1：商業施設、業務施設、公共公益施設を主体とした複合的な土地利用とし、トランジットモールを活かした新しい都市にふさわしい賑わいを創出し、地区の核となる魅力的な土地利用を図る地区とする。</p> <p>複合地区 2：商業施設、業務施設、公共公益施設、中高層集合住宅を主体とした複合的な土地利用とし、トランジットモールを活かした新しい都市にふさわしい賑わいを創出し、地区内の生活利便性の向上を図る地区とする。</p> <p>(住宅地区)</p> <p>住宅地区 1：戸建住宅、沿道商業・サービス施設、業務施設を主体とした土地利用とし、広域道路の沿道として複合的な土地利用を図る地区とする。</p> <p>住宅地区 2：戸建低層住宅、低中層集合住宅を主体とした土地利用とし、隣接する既存住宅地と調和するうるおいと落ち着きのあるまちなみ景観を創出し、環境に配慮した良好な住環境の形成及び保全を図る地区とする。</p> <p>教育地区：小学校を主体とした土地利用とし、周辺の住宅環境との調和を図る地区とする。</p>
	緑化の方針	本地区は、環境との共生を理念とした緑豊かでうるおいのあるまちなみの形成と環境負荷の低減を図るために、公共空間での緑化を進めるとともに、生垣、植栽等による敷地内緑化に努める。また、産業地区においては、周辺農地との調和を図るために、既存農地に面する部分を中心に植栽帯を配置し、敷地内緑化に努める。
	地区施設の整備の方針	本地区は、土地区画整理事業等により道路・公園等の公共施設の整備を行うとともに、これらの機能が損なわれないように維持・保全する。なお、地区のシンボルとして交流型情報ステーションとトランジットセンターの間に、地域の賑わいを創出する歩行者等の通路としてトランジットモールの整備を行うものとする。

	<p>建築物等は、良好な都市環境となるよう、産業地区、複合地区及び住宅地区を形成するとともに、富士山等への眺望に配慮し、周辺の田園環境や周辺の住環境との調和を図るため、次の方針のもとに事業効果の維持・増進を図る。</p> <p>(産業地区)</p> <p>産業地区1：広域道路を活かした新しい産業の施設や生産・物流の施設等を適正に配置・集約し、周辺の田園環境との調和を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限、建築物の高さの最高限度等必要な基準を設ける。</p> <p>産業地区2：広域道路を活かした新しい産業の施設や生産・物流の施設等を適正に配置・集約し、周辺の田園環境との調和を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限、建築物の高さの最高限度等必要な基準を設ける。</p> <p>産業地区3：広域道路を活かした生産・物流の施設のほか必要な施設を適正に配置・集約し、周辺の田園環境との調和を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限等必要な基準を設ける。</p> <p>産業地区4：広域道路を活かした先進的な産業の施設を集約し、周辺の田園環境との調和を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限、建築物の高さの最高限度等必要な基準を設ける。</p> <p>産業地区5：広域道路を活かした先進的な産業の施設のほか必要な施設を適正に配置・集約し、周辺の田園環境との調和を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限等必要な基準を設ける。</p> <p>(複合地区)</p> <p>複合地区1：トランジットモールを活かした新しい都市にふさわしい賑わいを創出する施設を誘導するとともに、適正に配置し、地区の核となる魅力的な土地利用を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限、建築物の高さの最高限度等必要な基準を設ける。</p> <p>複合地区2：トランジットモールを活かした新しい都市にふさわしい賑わいを創出し、地区内の生活利便性の向上を図るための施設を誘導するため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限、建築物の高さの最高限度等必要な基準を設ける。</p> <p>(住宅地区)</p> <p>住宅地区1：戸建住宅、沿道商業・サービス施設、業務施設を主体とした複合的な土地利用を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限等必要な基準を設ける。</p> <p>住宅地区2：戸建低層住宅、低中層集合住宅を主体とした土地利用を行い、隣接する住宅地と調和する潤いと落ち着きのあるまちなみ景観を創出し、環境に配慮した良好な住環境の形成及び保全を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限等必要な基準を設ける。</p> <p>教育地区：小学校を主体とした土地利用を図り、周辺の住宅環境との調和を図るため、建築物の用途の制限、壁面の位置の制限、建築物の高さの最高限度等必要な基準を設ける。</p>
--	--

## [地区整備計画]

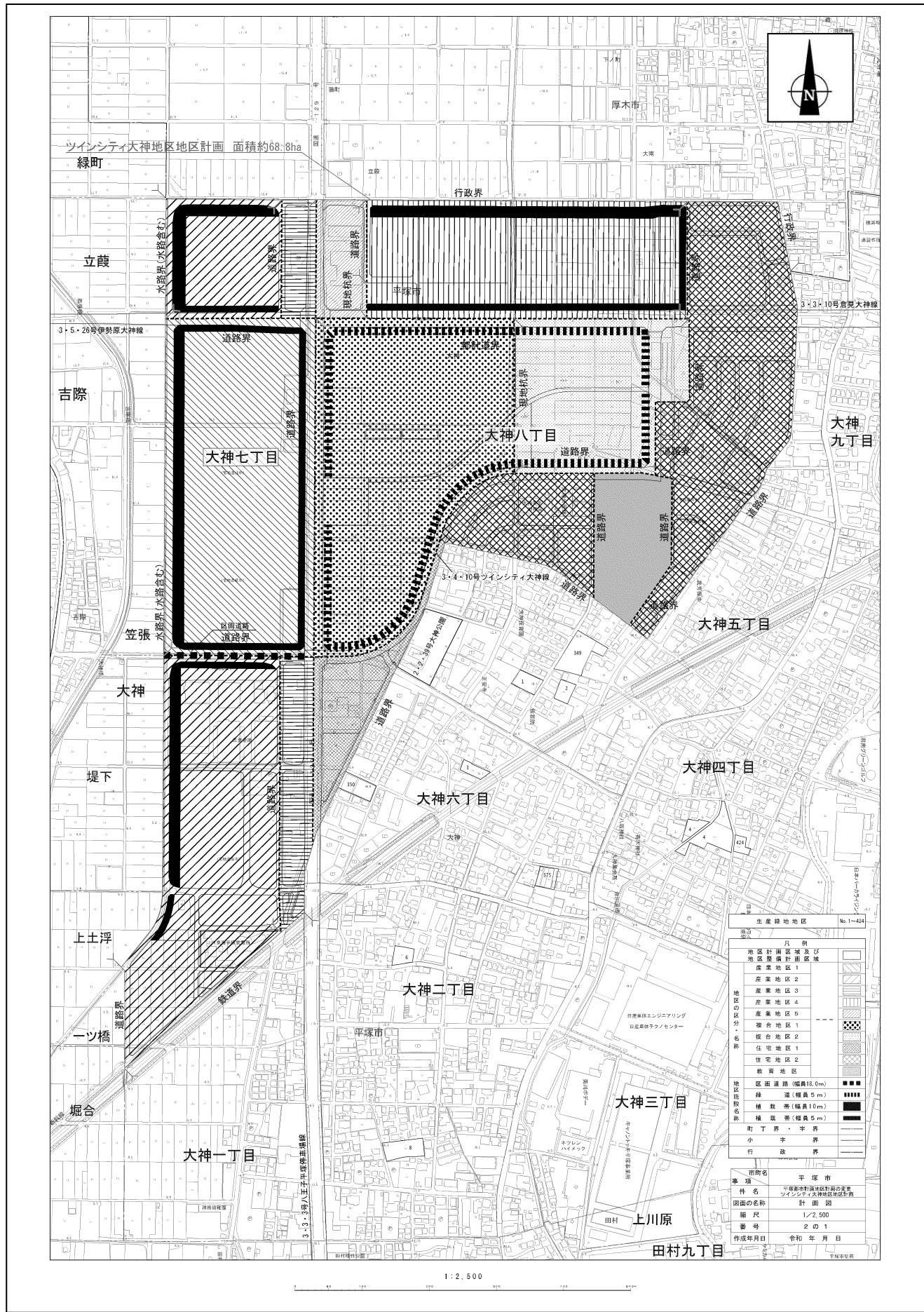
建築物の 敷地面積の 最低限度	他これらに 類する建築 物でその用 途に供する 部分の床面 積の合計が 1,500 m <sup>2</sup> を 超えるもの (12)ホテル 又は旅館 (13)自動車 教習所 (14)ボーリ ング場、ス ケート場、 水泳場その 他これらに 類するもの (15)マージ ヤン屋、ば ちゃんこ屋、 射的場、勝 馬投票券 発売所、場 外車券売 場その他こ れらに類す るもの (16)カラオ ケボックス その他これ に類するも の (17)劇場、 映画館、演 芸場又は 観覧場 (18)キャバ レー、料理 店、ナイトク ラブ、ダン スホールそ の他これら に類するも の (19)畜舎	(11)ボーリ ング場、ス ケート場、 水泳場その 他これらに 類するもの (12)マージ ヤン屋、ば ちゃんこ屋、 射的場、勝 馬投票券 発売所、場 外車券売 場その他こ れらに類す るもの (13)カラオ ケボックス その他これ に類するも の (14)劇場、 映画館、演 芸場又は 観覧場 (15)キャバ レー、料理 店、ナイトク ラブ、ダン スホールそ の他これら に類するも の (16)畜舎	他これらに 類する建築 物でその用 途に供する 部分の床面 積の合計が 1,500 m <sup>2</sup> を 超えるもの (12)ホテル 又は旅館 (13)自動車 教習所 (14)ボーリ ング場、ス ケート場、 水泳場その 他これらに 類するもの (15)マージ ヤン屋、ば ちゃんこ屋、 射的場、勝 馬投票券 発売所、場 外車券売 場その他こ れらに類す るもの (16)カラオ ケボックス その他これ に類するも の (17)劇場、 映画館、演 芸場又は 観覧場 (18)キャバ レー、料理 店、ナイトク ラブ、ダン スホールそ の他これら に類するも の (19)畜舎	ちんこ屋、 射的場、勝 馬投票券 発売所、場 外車券賣 場その他こ れらに類す るもの (12)倉庫業 を営む倉庫 (14)畜舎 (ペットショ ップ及び動 物病院を除 く。)	の建築物に 附属するも の(畜舎を 除く。) (12)前各号 の建築物に 附属するも の(畜舎を 除く。)	が 0.75KW 以下のもの に限る。) (12)前各号 の建築物に 附属するも の(畜舎を 除く。)			
	10,000 m <sup>2</sup>	2,000 m <sup>2</sup>	500 m <sup>2</sup>	2,000 m <sup>2</sup>	500 m <sup>2</sup>	5,000 m <sup>2</sup>	2,000 m <sup>2</sup>	165 m <sup>2</sup>	165 m <sup>2</sup>

壁面の位置の制限	<p>(1)道路境界線と建築物の外壁又はこれに代わる柱の面との距離は、次に定めるとおりとする。</p> <p>ア 1号壁面線 10m以上 イ 2号壁面線 5m以上 ウ 3号壁面線 2m以上 エ 壁面線の表示がないもの 1m以上</p> <p>ただし、産業地区4にあって、土地区画整理事業による土地の使用収益開始時(換地処分後は換地処分時)の面積が基準(建築物の敷地面積の最低限度)を下回る敷地においては、「2号壁面線」の表示箇所に限り、「3号壁面線」へ緩和できるものとする。なお、この場合にあっても、積極的に壁面の後退に努めるものとする。</p> <p>(2)道路境界線以外の敷地境界線と建築物の外壁又はこれに代わる柱の面との距離は、産業地区1、複合地区1及び複合地区2にあっては2.5m以上とし、その他の地区にあっては1m以上とする。ただし、次のいずれかに該当するものについては、この限りでない。</p> <p>ア 外壁又はこれに代わる柱の中心線の長さの合計が3m以下である建築物の部分 イ 物置その他これに類する用途(自動車車庫を除く。)に供し、軒の高さが2.3m以下で、かつ、床面積の合計が5m<sup>2</sup>以内である建築物又は建築物の部分 ウ 自動車車庫の用途に供し、軒の高さが3m以下、間口が6m以下で、かつ、床面積の合計が15m<sup>2</sup>以内である建築物又は建築物の部分 エ 一辺の長さが11mの正四角形を確保できない敷地における当該敷地の一辺が11m以上ある部分</p> <p>(3)前2号の規定にかかわらず、次のいずれかに該当するものは、この限りでない。ただし、この場合にあっても、積極的に壁面の後退に努めるものとする。</p> <p>ア 巡査派出所、公衆電話所その他これらに類する公益上必要な建築物 イ 道路内に建築する建築物又は道路内に建築する建築物に接続する必要最低限の建築物の部分</p>										
	<table border="1"> <tr> <td>建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下としなければならない。</td><td>建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、20m以下としなければならない。ただし、敷地面積が10,000m<sup>2</sup>以上の場合は、当該部分から北側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.5を乗じて得たもの(20m以下の場合にあっては20m)で、かつ、31m以下とすることができる。</td><td>15m</td><td>20m。ただし、敷地面積が10,000m<sup>2</sup>以上の場合は31m)</td><td>15m</td><td>20m(敷地面積が10,000m<sup>2</sup>以上の場合は31m)</td><td>20m(敷地面積が10,000m<sup>2</sup>以上の場合は31m)</td><td>15m</td><td>12m</td><td>15m</td></tr> </table>	建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下としなければならない。	建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、20m以下としなければならない。ただし、敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は、当該部分から北側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.5を乗じて得たもの(20m以下の場合にあっては20m)で、かつ、31m以下とすることができる。	15m	20m。ただし、敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	15m	20m(敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	20m(敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	15m	12m	15m
建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下としなければならない。	建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、20m以下としなければならない。ただし、敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は、当該部分から北側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.5を乗じて得たもの(20m以下の場合にあっては20m)で、かつ、31m以下とすることができる。	15m	20m。ただし、敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	15m	20m(敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	20m(敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	15m	12m	15m		
建築物の高さの最高限度	<table border="1"> <tr> <td>建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下としなければならない。</td><td>建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.5を乗じて得たもの(20m以下の場合は20m)で、西側地区界道路にあっては0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下とすることができる。</td><td>15m</td><td>20m。ただし、敷地面積が10,000m<sup>2</sup>以上の場合は31m)</td><td>15m</td><td>20m(敷地面積が10,000m<sup>2</sup>以上の場合は31m)</td><td>20m(敷地面積が10,000m<sup>2</sup>以上の場合は31m)</td><td>15m</td><td>12m</td><td>15m</td></tr> </table>	建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下としなければならない。	建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.5を乗じて得たもの(20m以下の場合は20m)で、西側地区界道路にあっては0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下とすることができる。	15m	20m。ただし、敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	15m	20m(敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	20m(敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	15m	12m	15m
建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下としなければならない。	建築物の各部分から西側地区界道路の反対側の境界線までの水平距離に0.5を乗じて得たもの(20m以下の場合は20m)で、西側地区界道路にあっては0.9を乗じて得たもので、かつ、31m以下とすることができる。	15m	20m。ただし、敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	15m	20m(敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	20m(敷地面積が10,000m <sup>2</sup> 以上の場合は31m)	15m	12m	15m		
建築物等の形態又は色彩その他の意匠の制限	<p>建築物、工作物及び敷地等は、平塚市景観条例第6条第1項の規定により定めた平塚市景観計画に定める景観形成基準に従うとともに、河川や広大な田園等の周辺環境との調和並びに富士山等の山並みへの眺望に配慮した配置、規模及びデザインとし、ゆとりあるやすらぎ空間を創出することとする。</p> <p>屋上に屋外広告物を表示し、又は屋外広告物を掲出する物件を設置してはならない。</p>										
垣又はさくの構造の制限	<p>道路境界線及び敷地境界線に面して設ける垣又はさく(寺院に設けるものを除く。)は、生垣又は透視可能なフェンスとしなければならない。ただし、次の各号のいずれかに該当するものを設置する場合は、この限りでない。</p> <p>(1)門、門に付随する袖壁又は高さ65cm以下のコンクリートブロック塀等</p>										

		(2)周辺環境に配慮するために設置が必要と認められる遮音壁等 (3)ガソリンスタンド、灯油販売所その他危険物を取り扱う施設の周囲に設けるもので、当該施設の設置に関する法令等でその設置が義務付けられているものの									
	建築物の緑化率の最低限度	20%	15% (敷地面積が3,000m <sup>2</sup> 以上の場合 は20%)	10% (敷地面積が1,000m <sup>2</sup> 以上3,000m <sup>2</sup> 未満の場合 は15%、3,000m <sup>2</sup> 以上の場合は 20%)	15% (敷地面積が3,000m <sup>2</sup> 以上の場合 は20%)	10% (敷地面積が1,000m <sup>2</sup> 以上3,000m <sup>2</sup> 未満の場合 は15%、3,000m <sup>2</sup> 以上の場合は 20%)	10% (敷地面積が3,000m <sup>2</sup> 以上3,000m <sup>2</sup> 未満の場合 は15%、3,000m <sup>2</sup> 以上の場合は 20%)	15% (敷地面積が1,000m <sup>2</sup> 以上3,000m <sup>2</sup> 未満の場合 は15%、3,000m <sup>2</sup> 以上の場合は 20%)	10% (敷地面積が1,000m <sup>2</sup> 以上3,000m <sup>2</sup> 未満の場合 は15%、3,000m <sup>2</sup> 以上の場合は 20%)	10% (敷地面積が1,000m <sup>2</sup> 以上3,000m <sup>2</sup> 未満の場合 は15%、3,000m <sup>2</sup> 以上の場合は 20%)	20%
ただし、都市計画決定の告示目に存する建築物の増築、大規模の修繕又は大規模な模様替をする場合においては、この限りでない。ただし、この場合にあっても、積極的に緑化に努めるものとする。											

「地区計画の区域、地区整備計画の区域、地区施設の配置、地区の区分及び壁面の位置の制限は、計画図表示のとおり」

## ツインシティ大神地区地区計画 計画図



# ツインシティ大神地区地区計画 計画図

